2 【四半期財務書類】

- (1) 【四半期連結財務諸表】 ① 【四半期連結貸借対照表】

		前連結会計年度 2024年12月31日 (単位:千米ドル)	前連結会計年度 2024年12月31日 (単位:百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 2025年9月30日 (単位:千米ドル)	当第3四半期 連結会計期間末 2025年9月30日 (単位:百万円)
資産の部					
流動資産					
現金及び預金		9, 180	1, 367	3, 213	478
売掛金	※ 1	474	71	400	60
未収入金		209	31	190	28
その他		491	73	171	2
流動資産合計		10, 354	1,542	3, 974	59
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物		532	79	533	7
減価償却累計額		△ 220	△ 33	△ 341	△ 5
建物及び構築物 (純額)		313	47	192	2
工具、器具及び備品		261	39	220	3
減価償却累計額		△ 217	△ 32	△ 197	Δ:
工具、器具及び備品 (純額)		44	6	23	
有形固定資産合計		356	53	215	3
投資その他の資産					
投資有価証券		-	-	20, 995	3, 12
関係会社株式		9, 259	1, 378	9, 338	1, 39
投資その他の資産合計	※ 1	9, 259	1, 378	30, 333	4, 51
固定資産合計		9, 615	1, 432	30, 549	4, 54
資産合計		19,970	2, 973	34, 523	5, 14

	前連結会計年度 2024年12月31日 (単位:千米ドル)	前連結会計年度 2024年12月31日 (単位:百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 2025年9月30日 (単位:千米ドル)	当第3四半期 連結会計期間末 2025年9月30日 (単位:百万円)
負債の部				
流動負債				
買掛金	23	3	34	5
マルチ・シリーズBTCボンド - 第1回	-	-	6, 864	1,022
短期借入金	413	61	9, 402	1, 400
未払金	2, 465	367	2, 572	383
未払費用	802	119	804	120
その他	184	27	195	29
流動負債合計	3, 887	579	19, 871	2, 958
固定負債				
長期借入金	740	110	768	114
その他	133	20	28	4
固定負債合計	874	130	797	119
負債合計	4, 761	709	20,668	3,077
純資産の部				
株主資本				
資本金	2, 334	347	2, 334	347
資本剰余金	489, 382	72,859	489, 382	72, 859
利益剰余金	△ 442,064	△ 65,815	△ 444,666	△ 66,202
株主資本合計	49, 651	7, 392	47,050	7,005
その他の包括利益累計額				
為替換算調整勘定	△ 34,442	△ 5,128	△ 34,769	△ 5,176
その他有価証券評価差額金	-	_	1,564	233
評価・換算差額等合計	△ 34,442	△ 5,128	△ 33, 205	△ 4,944
新株予約権	-	-	11	2
少数株主持分	-	-	-	_
非支配株主持分	-		_	
純資産合計	15, 209	2, 264	13, 855	2, 063
負債純資産合計	19, 970	2, 973	34, 523	5, 140

②【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

1, 497 801 696 300 368 36	223 74 119 49 104 25 45 30 55 37	73 750 37
300 368	104 25 45 30 55 37	50 37
300 368	45 30 55 37	
368	55 37	00 45
368	55 37	00 45
36		71 55
	5	16
128	19 12	23
1, 372	204 1, 29	92 192
48	7 5	50 7
303	45 37	78 56
2, 555	380 2,53	377
1,859 △	277 △ 2,28	∆ 339
2	0	1 0
48	7	12
116	17 1	19
165	25 10	00 15
229	34 42	21 63
229	34 42	21 63
1,923 △	286 △ 2,60	△ 387
	286	△ 387
1,923 △	0	1 0
1,923 △ 2	0	1 0
1, 923 \triangle 2 2	287 \ \ \ 2.60	△ 387
2	20,00	D1 △ 387
Δ	2	2 0 △ 1,925 △ 287 △ 2,60 △ 1,925 △ 287 △ 2,60

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日 (単位:千米ドル)	前第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日 (単位:百万円)	当第3四半期連結累計期間 自 2025年1月1日 至 2025年9月30日 (単位:千米ドル)	当第3四半期連結累計期間 自 2025年1月1日 至 2025年9月30日 (単位:百万円)
四半期純損失 (△)	△ 1,925	△ 287	△ 2,601	△ 387
その他の包括利益				
為替換算調整勘定	△ 106	△ 16	△ 327	△ 49
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 2	△ 0	0	0
その他有価証券評価差額金	-	=	1,564	233
その他の包括利益合計	△ 108	△ 16	1, 237	184
包括利益	△ 2,033	△ 303	△ 1,364	△ 203
(内訳)				
親会社株主に係る包括利益	△ 2,033	△ 303	△ 1,364	△ 203
非支配株主に係る包括利益	-	-	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当社グループは、前連結会計年度まで継続して重要な営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても引き続き、営業損失2,280千米ドル(339百万円)、及び親会社株主に帰属する四半期純損失2,601千米ドル(387百万円)を計上しております。また、当社グループのキャッシュ・フローは非常に厳しいため、引き続き既存の債務を返済するための資金が不足しております。これらの状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、これらの状況を解消するために、引き続き既存事業の拡大に注力しつつ、引き続き投資事業を遂行して参ります。具体的には、投資物件が安定した賃貸収入を生み出し、不動産価値に潜在的なキャピタルゲインを提供できることを考慮の上、投資目的で不動産を取得する予定です。また、当社グループの成長、経営安定化及び企業価値増大を目指し、収益力、将来性を具備する企業・事業の取得等戦略的投資活動を今後も積極的に推進していく予定であり、当該投資事業を通して、新しい収益源を獲得できるよう努めて参ります。

さらに、事業の損失削減及び収益性の向上のため、全社的な費用及び営業費用の更なる削減を行って参ります。 加えて、新たな資金調達も検討して参ります。

しかしながら、これらの対応策のうち上記投資活動は、計画実行途上ないし計画途上にあることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表に反映しておりません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

Good Mega Limitedの取得により、同社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(四半期財務諸表の円換算)

「円」で表示されている金額は、四半期財務諸表等規則第88条の規定に準じて、2025年9月30日現在の株式会社 三菱UFJ銀行における対顧客電信売買相場の仲値、1米ドル=148.88円で換算された金額であります。なお、当該 円換算額は、単に表示上の便宜を目的としており、米ドルで表示された金額が上記の相場で実際に円に換算されることを意味するものではありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
(2024平12月31日)	(2020年9月 30日)
※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額	※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額
111	0
(17)	(0)
投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額	投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額
_	_
(-)	(-)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

		.,,	1 4/
前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)		(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	
減価償却費	153	減価償却費	140
	(23)		(21)
	(20)		(21)
のれんの償却額	_	のれんの償却額	-
	(-)		(-)

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

株主資本の著しい変動

第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,193千米ドル(178百万円)、3,132千米ドル(466百万円)増加し、本株式併合に伴う端数株を買戻し及び消却したことによる部分的な相殺はありますが、第三者割当により普通株式を発行したことによります。

前第3四半期連結会計期間末において、資本金は1,501千米ドル(223百万円)、資本剰余金は474,449千米ドル(70,636百万円)となっております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません

(金融商品関係)

有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末(2025年9月30日)

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

科目	連結貸借対照表 計上額	時価	差額
有価証券			
その他有価証券	20, 995 (3, 126)	20, 995 (3, 126)	(-)
合計	20, 995 (3, 126)	20, 995 (3, 126)	(-)

なお、有価証券に含まれる項目のうち、時価で連結貸借対照表に計上しているその他有価証券の時価のレベルごとの金額について、前連結会計年度の末日に比して著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末(2025年9月30日)

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

区分	時価					
区力	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計		
有価証券						
その他有価証券						
株式	3, 098	_	-	3, 098		
	(461)	(-)	(-)	(461)		
その他	17, 896	_	_	17,896		
	(2,664)	(-)	(-)	(2,664)		
資産計	20, 995		=	20, 995		
	(3, 126)	(-)	(-)	(3, 126)		

(有価証券関係)

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

1. その他有価証券

当第3四半期連結会計期間末(2025年9月30日)

(単位:千米ドル、括弧内は百万円

種類	取得原価(百万円) 連結貸借対照表 計上額(百万円)		差額(百万円)
株式	4, 009	3, 098	△911
	(597)	(461)	(△136)
その他	15, 422	17, 896	2, 475
	(2, 296)	(2, 664)	(368)
合計	19, 431	20, 995	1, 564
	(2, 893)	(3, 126)	(233)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

		報告セ	グメント		>/r 1 \ , , \ 1 1 \ \ \ \ \ \ 1	四半期連結
	ライセンシ	メッセージ	その他	合計	調整額	損益計算書
	ング事業	ング事業	の事業	台町		計上額
売上高						
顧客との契約から生じる収益	-	1, 497	-	1, 497		1, 497
展出という人が30 夕上とも10 mm	(-)	(223)	(-)	(223)	(-)	(223)
その他の収益	_	- ()	_	-	_	_ ()
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
外部顧客への売上高	_	1, 497	_	1, 497	_	1, 497
3	(-)	(223)	(-)	(223)	(-)	(223)
セグメント間の内部売上高又	_	_	_	_	_	_
は振替高	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
合計	_	1, 497	_	1, 497	_	1, 497
口前	(-)	(223)	(-)	(223)	(-)	(223)
, 12) , 1 (114) 1 H (1 / A)	△2	168	△2,091	△1,925	-	△1, 925
セグメント利益又は損失(△)	(△0)	(25)	(△311)	(△287)	(-)	(△287)

- (注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。
- 2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

		報告セグメント					四半期連結 損益計算書 計上額
	投資事業	ライセン シング事 業	メッセー ジング事 業	その他の事業	合計		
売上高							
京皮1 の初始よう 4.12 rp子	-	_	741	_	741	-	741
顧客との契約から生じる収益	(-)	(-)	(110)	(-)	(110)	(-)	(110)
7 0 14 0 19 7	=	=	_	=	=	=	=
その他の収益	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
N 如豆皮	-	-	741	-	741	-	741
外部顧客への売上高	(-)	(-)	(110)	(-)	(110)	(-)	(110)
セグメント間の内部売上高又	=	=	=	=	=	=	=
は振替高	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
A 31	-	-	741	-	741	-	741
合計	(-)	(-)	(110)	(-)	(110)	(-)	(110)
2 18 2 2 41 V - 2 18 4 (A)	△22	$\triangle 4$	△382	△2, 194	△2,601	-	△2,601
セグメント利益又は損失(△)	(△3)	(△1)	(△57)	(△327)	(△387)	(-)	(△387)

⁽注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間において、Good Mega Limited の株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「投資事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(単位:米ドル、括弧内は円)

項目	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年9月30日)
1株当たり純資産額	0. 84 (125. 06)	0.76 (113.15)

2. 1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位:米ドル、括弧内は円)

項目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2024年1月1日	(自 2025年1月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
1株当たり四半期純損失 (△)	△0. 57 (△84. 86)	△0. 14 (△20. 84)

(算定上の基礎)

(単位:千米ドル、括弧内は百万円)

		(単位:「本下ル、街弧円は日刀円)
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
項目	(自 2024年1月1日	(自 2025年1月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
親会社株主に帰属する四半期純	△1, 925	△2, 601
損失 (△)	(△287)	(△387)
普通株主に帰属しない金額	_ (-)	_ (-)
普通株式に係る親会社株主に帰	\triangle 1, 925	△2,601
属する四半期純損失 (△)	(△287)	(△387)
普通株式、優先株式及びの期中 平均株式数(株) 普通株式 優先株式 転換劣後株式	3, 365, 577. 08 3, 365, 576. 08 1 -	18, 203, 557. 76 18, 203, 556. 76 1
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末か ら重要な変動があったもの概要		-

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載 しておりません。
 - 2 優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3【その他】

該当事項はありません。